

石川県

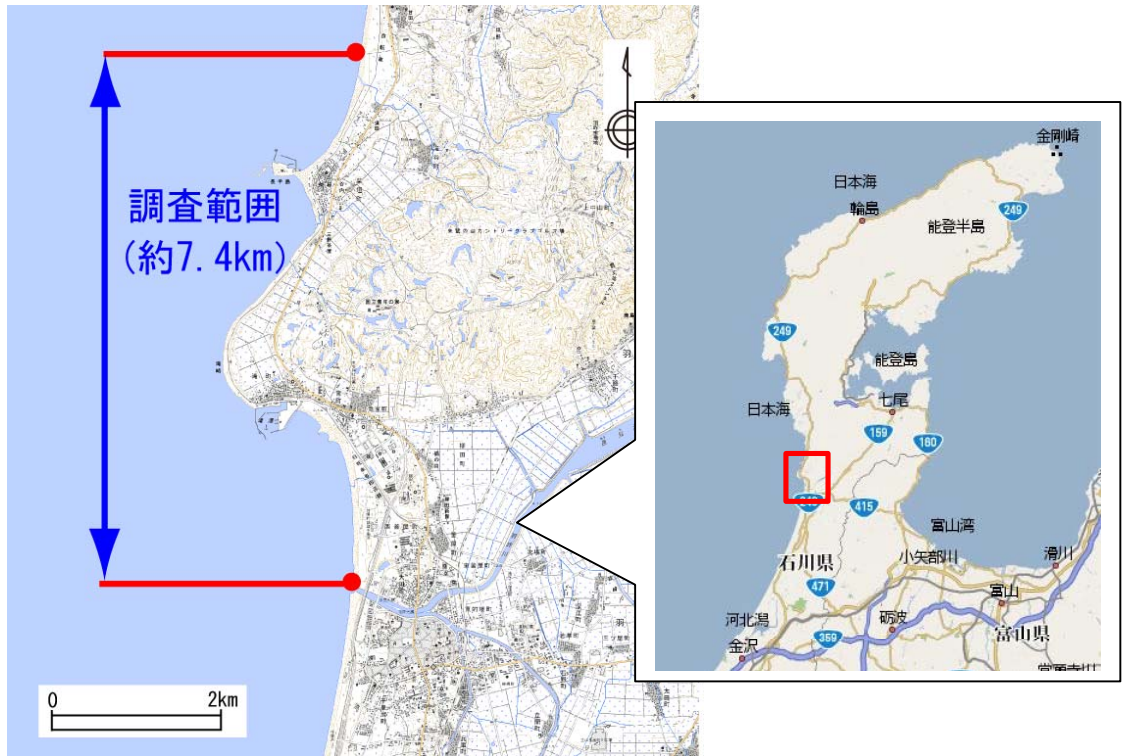


図 17 調査範囲（石川県羽咋市 羽咋・滝海岸）

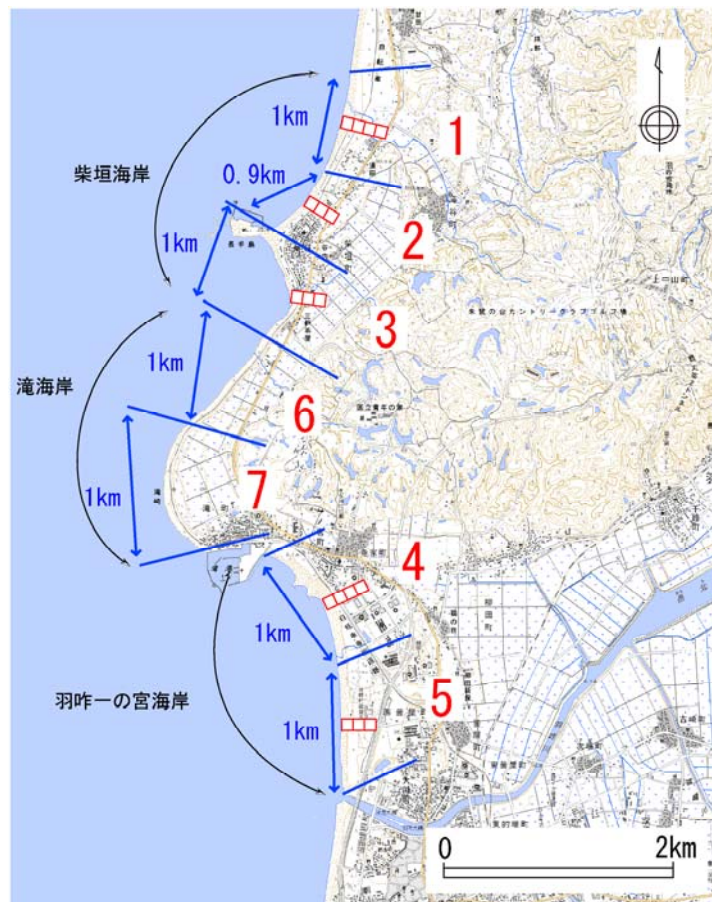


図 18 調査地点及び調査枠（石川県羽咋市 羽咋・滝海岸）

ゴミの回収には、人力の他に重機類の導入を検討している。

a. ゴミ回収の優先順位

調査時にゴミの量が多く一回のクリーンアップ調査で全てのゴミを回収できないことが想定される場合には、回収の範囲やゴミの種類に優先順位を付けて回収する。優先順位は、回収し切れなかったゴミが共通調査の結果に影響を及ぼさないよう考慮して設定する。

共通調査の枠の中にゴミが移動しないように、風で移動しやすいゴミは全て回収する。移動しやすいゴミの全ての回収が困難な場合には、調査枠に近い場所から回収する。

また、調査区域1の北側には希少生物の生息地が存在するため、同区域の南側を優先的に回収作業を行う。

滝海岸においては、ゴミの回収・搬出が人力に頼ることになるため、確保できる作業員数を勘案して回収範囲等を検討する。

b. ゴミの回収に使用する重機類等

柴垣海岸及び羽咋一の宮海岸は、奥行きが30～40mの砂浜が連続し、重機の搬入が可能である。そこで、回収方法として、人手による回収の他に、バックホウ、ホイールローダー、ビーチクリーナ等の重機を導入し、効果的かつ経済的に回収作業が実施できるよう検討する。

なお、柴垣海岸のうち、希少生物の生息地（図18の1の区域）については、重機の使用により生息地に影響を及ぼすおそれがあることから、全て人手により回収作業を行い、重機を用いた別の区域（図18の2及び3の区域）の回収作業との効率性・経済性の比較を行うこととする。

一方、礫浜が連続する滝海岸は、重機の搬入ができないため、ゴミの回収は人力のみで行う。



図 19 使用を検討する重機（石川県羽咋市 羽咋・滝海岸）

c. ゴミの運搬方法

柴垣海岸及び羽咋一の宮海岸は、浜までトラックもしくはパッカー車が入るため、浜から直接トラックでゴミを処分場まで搬入することを検討する。滝海岸については、近傍の駐車場まで人力で効率よく搬出できる方法を検討する。

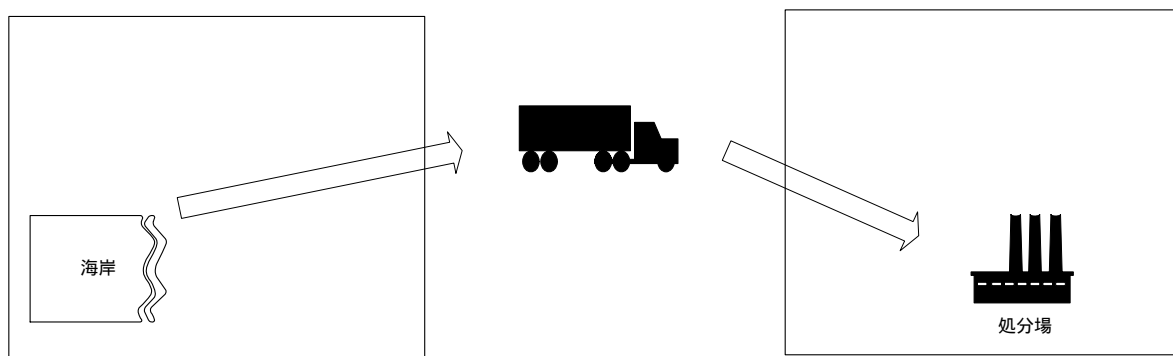


図 20 ゴミ運搬の模式図（石川県羽咋市 羽咋・滝海岸）

福井県



図 21 調査範囲（福井県坂井市 梶地先海岸～安島地先海岸）

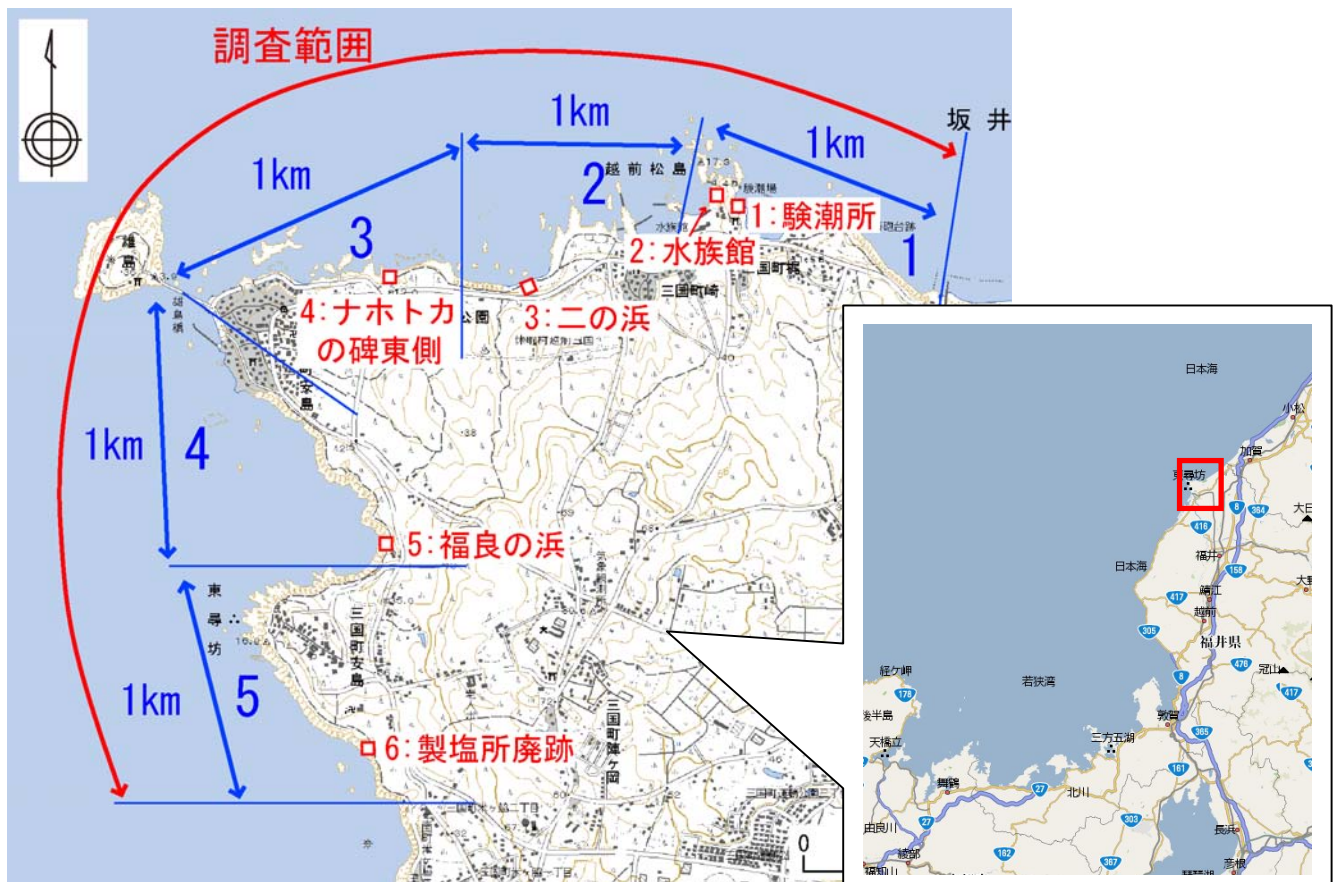


図 22 調査地点及び調査枠（福井県坂井市 梶地先海岸～安島地先海岸）